

ふくしま 地域活動団体 サポートセンター News Letter

平成25年度.vol.2

- 「NPOに求められるもの」田中尚輝氏
- 「いまを駆ける」(活動団体紹介)
- Future From Fukushima.
～中・長期的な復興・被災者支援の継続を目指して～
- チャレンジ! 助成金情報
- お役立ち情報 おすすめ書籍のご紹介!
- 「NPOなんでも相談会」
- 編集後記

NPOに求められるもの

寄稿 田中 尚輝氏

NPOは、今よりより良い社会に変えるために存在します。今、NPO団体に求められる資質として、次の3点があげられます。

- ①NPOは先見性を持たなければなりません。
- ②NPOは力強くなければなりません。
- ③NPOは人も資金も確保できるようにしなければなりません。

このことは難しいようですが、そうでもありません。肝心なことはリーダーの心構えです。小さな希望しか持たないリーダーの周りには小人しか集まりません。大きな希望を持つリーダーの周りには優秀な人物が集まります。ほとんどのNPOの行く末は「リーダー」によって決まります。そして、リーダーは選ばれた人ではなく、誰でもなれるのです。

NPOの挑戦は、自分の生き方を楽しく豊かにするものです。あなたも挑戦してみませんか。ことに、被災地福島県でのNPOの活動は「文明史」的な意味があります。東日本大震災と福島第一原子力発電所での過酷な事故は自然と現代文明が日本と福島に投げかけた大きなクエッションです。

「このままいいのか?」と問われているのです。その答えを福島県の皆さんと私たちNPOは出さなければならぬのです。



田中 尚輝 (ななか なおき)
1943年京都生まれ
特定非営利活動法人 市民福祉団体全国協議会 専務理事
中央大学 法学部 講師

長野県民協働を進める円卓会議 座長
高齢者や子ども、NPOに関わる諸問題解決のため、社会的環境整備に精力的に取り組んでいる。とりわけ現在は、NPOのマネジメントや評価のノウハウを広めるため、執筆や全国的な講演活動に活躍中。
著書に「NPOの資金づくりがわかる本!」(学陽書房)「悪党的思考」のすすめ」(中央アート出版)ほか多数。

講師のプロフご紹介

「私はNPOの活動家として、「新しい公共」を社会的システムとして形成したいと思っている。また、「フーテンの寅」のように全国移動をしている。そこで感じたことを書く。」
個人ブログ <http://blog.canpan.info/tanaka-naoki/>

参加
無料

「NPO等マネジメント力強化講座&相談会」

～健全なNPO等活動はマネジメント力強化から～

開催日時・会場	11月18日(月)	[郡山市]	総合福祉センター
	11月19日(火)	[相馬市]	総合福祉センターはまなす館
	11月20日(水)	[福島市]	AOZ(アオウゼ)

*講座時間はすべて(13:30~16:30)です。

講師 | 田中尚輝氏：特定非営利活動法人 市民福祉団体全国協議会 専務理事

個別相談会を
同会場で
開催します!参加
無料

現役社長が教える!「誰でもできる寄付獲得」

～ITからはじめる!実践ファンドレイジング～

開催日時・会場	11月26日(火)	[二本松]	二本松市市民交流センター
	11月27日(水)	[南相馬]	南相馬市原町生涯学習センター
	12月 3日(火)	[白 河]	白河市立図書館(地域交流会議室)
	12月 4日(水)	[いわき]	いわき市生涯学習プラザ(ティワンビル)

*講座時間はすべて(13:30~16:40)です。

講師 | 藪内 利明氏：(株)コンピューターシステムハウス 社長
岩崎 徹氏：(株)アイデア 社長

“いまを駆ける”

■山形避難者母の会

山形市

震災とそれに伴う原発事故により山形県内に避難したお母さんたちが、ふるさとである福島県や各市町村とのつなげ役となる基盤組織として、2011年10月に有志によって設立されたのが「山形避難者母の会」です。

県の地域づくり総合支援事業の認定を受け、子供たちの一時預かり、小中学生向けの習い事支援、母子交流サロン運営の3つの事業を柱に、スタッフであるお母さんたちの資格や経歴も活かして運営されています。

様々な楽しいイベント等も通し、主に母子避難をしている皆さん同士の絆づくりを行っています。また、山形の皆さんからも暖かいサポートを受け、共に支えあい前進していこうと交流を深めています。

代表の中村美紀さんは「ふるさと帰還について悩むお母さんたちは末だたくさんいます。だからこそ、心強い仲間である母親たちのリフレッシュの時間・悩みを分かち合える交流の場を作り、これからも前向きに進もうと考えています。」と語りました。



▲夏休みお預かり教室(学童プロジェクト)の様子
「大石小学童の子どもたちとの交流」



▲福島から避難したお母さんが教える、ピアノ教室の様子

■伊達市市民活動支援センター

伊達市

阿武隈川近くに市立図書館を併設した複合施設「伊達ふれあいセンター」があります。こちらの3階に「伊達市市民活動支援センター」が設置されています。

公設民営の施設として、当初、任意団体として活動をスタート。今年、NPO法人として認証を受け、市民活動へのサポートをもより充実させる体制を整えました。

まず取り組んだものは、市民活動の「見える化」です。伊達市の地図上にNPO法人をマッピングした、「伊達市市民活動マップ」を作成したことで、市民活動の広がりが一目でわかります。

2008年のセンターの開設構想から、大震災もあり、様々なハードルがありましたが、同所の開設により、伊達市でのNPO法人設立が着実に増加しており、その成果は着実に進展しています。

市民の「～したい」を応援することから、さらに発展させ、市民・行政への提案機能を充実させていきたいと、支援センターの目標は、ずっと先の伊達市の将来をも見据えているようです。



▲私たちが市民の「～したい」を形にしています!



▲まずは、クリック! 支援センターのHP!!
お役立つ情報がギュッとつまんであります!

Future From Fukushima.

～中・長期的な復興・被災者支援の継続を目指して～

■3.11被災者を支援するいわき連絡協議会(愛称:みんぶく)

「みんなの研修・交流スペース企画・運営事業」事業紹介

「みんぶく」の誕生!

JRいわき駅の南東方に存する大規模団地「いわきニュータウン」の一角に「3.11被災者を支援するいわき連絡協議会」(愛称:みんぶく)の事務所があります。現在、この団地には、多くの仮設住宅があり、広野町、楢葉町、いわき市の方々が避難をされています。

いわき市では、市民、双葉郡の避難者の方々がそれぞれの課題を抱えて生活しています。避難元自治体間での異なる対応策、さらには、時間の経過により変容していく課題に対して、震災当初から復興支援に関わってきた様々なNPO団体や個人等が情報を共有化することで解決の糸口を見出したいという思いから、「みんぶく」が生まれました。

「支援する人」も「支援を必要とする人」も共に集い、知恵を出し合い活動することが最も必要であると考え、結成された協議会です。現在では、正会員、賛助会員を含め約50の団体が参加しており、今年7月にNPOとして法人認証されています。

「みんなの研修・交流スペース」

事務所背後に専用のプレバブ会場を設置し、「学びと連携」の



◎こちらが3.11被災者を支援するいわき連絡協議会(みんぶく)の拠点です!

復興・再生に向けて、高い運営力を有するNPO等の育成が期待されています。現在、おこなわれている福島県地域づくり総合支援事業(ふるさと・きずな維持・再生支援事業)の活動のようすをお伝えします。

機会と場所を提供し、各種研修の実施や交流会を行っております。また、被災者にもスペースを提供し、住民の連携・融和の場・地域コミュニティの中心となっています。

特に、長引く復興支援により、支援スタッフにも支援の手が必要であるとして、支援者の心ケアに対する研修会も実施するなど、注目される研修メニューが数多くあります。

「いわき防災・減災ツアー」の開催

多くの方々からの要望を受け、被災地見学の案内役を行っております。経験を積み重ね、被災状況を丹念に調べていくことで、様々な「災害からの学び」に気づくようになったとも言います。この学びは、「いわき防災・減災ツアー」として、体験学習(スタディーツアー)へとつながり、現在、全国各地・各方面からの問い合わせが殺到しております。



▲みんぶくメンバーの皆さんです!



▲防災・減災ツアーでのご一コマ! 被災者支援や防災グッズの選び方を学んでいます!

震災からの真の復興に向けては、まさに、「みんなが復興の主役!」となり、ダイナミックに変えていきたいと力があります。

チャレンジ! 助成金情報

これからでも申し込みできる助成金情報です。
内容は抜粋していますので、詳細については、
実施団体やホームページでご確認ください。



これからでも間に合う助成金情報

◆活動全般対象助成金

名称:支援元 **2014年度助成・公益財団法人 大阪コミュニティ財団 (OCF)**

対象事業 1年以上の活動実績を有する非営利団体(法人格の有無は問いません)、他

申込期間 2013年10月1日(火)～2013年11月29日(金)

上限金額 分野別・基金別に異なる。

参考URL <http://www.osaka-community.or.jp/>

名称:支援元 **2014(平成26)年度年賀寄附金配分団体の公募・JP日本郵政株式会社**

対象事業 一般枠:「お年玉付郵便葉書等に関する法律」(昭和24年法律第224号)に定められた10%の分。
特別枠:「東日本大震災による被災者の救助又はその予防(復興)を目的とする事業。」

申込期間 2013(平成25)年9月17日(火)～2013年(平成25)11月15日(金)

上限金額 1件当たり500万円とし、活動・チャレンジプログラムについてのみ50万円とします

参考URL <http://www.post.japanpost.jp/kifu/>

◆復興支援対象助成金

名称:支援元 **東日本大震災復興支援 JT NPO応援プロジェクト・日本たばこ産業株式会社**

対象事業 岩手県、宮城県、福島県のいずれかの県において、民間非営利組織が地域の人々と共に取り組む、コミュニティの復興・再生・活性化に向けた事業、他

申込期間 第3回2014年1月6日～2014年1月20日(予定) 年4回の募集を通じ、原則1年間助成を行います。

上限金額 1件あたり300万円以上、500万円以内。年間20件(団体)程度の助成を行う予定。

参考URL <http://www.jti.co.jp/csr/contribution/support/npo-koubou/index.html>

名称:支援元 **東北ろうきん復興支援助成金制度・東北ろうきん**

対象事業 東日本大震災以降に行っている復旧・復興、被災者支援活動

申込期間 2013年10月1日(火)～11月20日(水)

上限金額 1団体に30万円とし、10団体への助成を予定しています。

参考URL http://www.tohoku-rokin.or.jp/whats_new/detail.html?id=241

名称:支援元 **2014年度公募助成・一般財団法人セブソーイレブン記念財団**

申込期間 2013年12月1日(日)～2014年1月20日(月)

参考URL <http://www.7midori.org/josei/index.html>

名称:支援元 **ふくしまっ子体験活動応援補助事業・福島県教育庁社会教育課**

申込期間 【冬期間】平成25年12月1日(日)～平成26年1月31日(金)

参考URL <http://www.syakai.fks.ed.jp/project4/project4.htm#体験活動>

名称:支援元 **大竹財団助成金・一般財団法人大竹財団**

申込期間 通年。年間を通じて申請を受け付けています。

参考URL <http://www.ohdake-foundation.org/grant.html>



お役立ち情報 おすすめ書籍のご紹介!

「NPOリーダーのための15の力」(WORK BOOK)

～継続的で、安定的な、NPO運営のために～ (編集・発行：日本NPOセンター) ※非売品



2012年から、被災地域のNPOの人材育成を目指して、ワールド・ビジョン・ジャパンと日本NPOセンターにおいて、「市民活動団体(NPO)育成・強化プロジェクト」が実施されております。

ご紹介する本書は、プロジェクトの集合研修の内容をテキストとして編集したものです。基礎編、事業編、組織編、コミュニケーション編と4編で構成されております。

発行元である日本NPOセンターは、このテキストを各団体の情報や知恵を書き入れた「オリジナルのマニュアル」として日頃の運営に活用することを提案しています。

今回は、注目すべき次の3つの力を取り上げてみました。

① 観る力 ～日本のNPOのカタチ～

3.11以後NPOに要請されているのは、行政との協働に取まらぬ。制度化されていないニーズを「新しい社会サービス」に創造し、社会変革をしつづけること。

② 提案する力 ～思いを形に、共感を得る企画～

ビジョンとミッションを見据え「計画→実施→振り返り→見直し」を繰り返す。

③ 持続する力 ～パワーを生み出す力～

問題解決の話し合いは、周囲の共感と信頼関係を高めることを意識して進める。

実現のカギは「リーダーと理事会の力量アップへの挑戦」です!!

同書は、皆さんの団体にとって、貴重な話や活動のヒントが満載です。どうぞ皆さんの活動にお役立てください。



「こちらを
贈呈します!」

(丹治所長)

ご希望者はお電話でお申し込みください。

限定! 先着10団体!

「NPOリーダーのための15の力」をご希望者に寄贈致します。

※1団体につき1冊に限りです。ご了承ください。

※その他、この書籍に関するご質問などは、お気軽にお問合せください。

無料相談
開催中!

県内のNPO等の活動を応援します!

「NPOなんでも相談会」

～どうぞお気軽にご相談ください～

例えば…

- ・地域活動をしたいけど…
どうすればいいの?
- ・イベントを効果的にお知らせしたい!
- ・スタッフのスキルを向上するには?…などなど

まずは、お電話を

TEL 024-521-7333



ふくしま地域活動団体サポートセンター

運営受託：認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

〒960-8043

福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階

TEL：024-521-7333

FAX：024-523-2741

E-Mail：saposen@f-npo.jp

U R L：www.f-npo.jp/saposen/



QRコードから携帯サイトをご覧いただけます。

編集後記

- 皆様のご支援によってここまでこられました。今後もよろしくお願ひ申し上げます。(丹治)
- 極真賞。県内各所、色とりどりの山肌が見事です。草の紅葉もきれいです。(I)
- 徐々に寒くなってきましたね。体調に気を付けて毎日を楽しく過ごしましょう。(J)
- お役立ち講座を県内各地で実施中です。是非、お越しください。(河野)
- 本当に願っているもの、大切にしたいものを語り合い、心ひとつになりたい。(半)